

社会人のための情報システム誌
— 経営近代化のシステム研究 —

Computer Report 4

目 次

2011 No.679

3 はじめの言葉

4 優れたリーダー登場は求める側の力量も問題 田原文夫

東京都知事選が公示された。かねてより「4 選はなし」と噂されていた石原慎太郎現職知事が、立候補を表明した。すでに出馬の意思表示をしていた他の候補者からは「後出しジャンケンだ」という非難の声。しかし、それよりもさらに「後出しジャンケン」候補も飛び出し、大混戦となる気配である。一方で、東北関東大震災という惨事に見舞われ、力強いリーダー／リーダーシップを求める声が日増しに高まっているのも事実だ。東京ばかりではない。統一地方選の時期だけに、優れたリーダーを求める期待は全国に広がっている。「御輿に乗るのは軽くてバカほどいい」と言った豪腕代議士がいるそうだが、平時はともかく、緊急時にある今のニッポンにそんな余裕はない。リーダーを待望すること自体は結構だが、どういうリーダーを求めるかは、それを選出する側の責任も同時に求められるということを忘れてはならない。現政権が、どのようなリーダーシップを発揮し、どういう成果を出してくれるかも見極めながら、地方自治体のリーダーを決める時である。かねてから、リーダーのあり方を論じてきた筆者が、改めてリーダー／リーダーシップとは何か、そして選ぶ側の心得とは何かに言及してくれた。

1 1 情報社会を考える その7

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか 編集部

情報社会のインフラ中のインフラ、基盤中の基盤が電力供給システムだということを、今回の東北関東大震災の影響で勃発した東京電力福島第一原発事故で思い知らされた。グリッドパワーサプライだとか、スマートパワーシステムだとか、情報社会の最重要課題として位置付けられ、認識されてきた電力供給システムのモロさが、一気にクローズアップされた。その余波は様々な形で表面化している。例えば、計画停電とは言うが、その実、無計画停電、あるいは東電の気まぐれで実施されているような停電は、個人／企業を問わず大きな影響を受けている。中には、メインフレームシステムが停止するなど、企業の事業展開に直接ダメージを与えているケースもある。時を同じくして、被災者への義捐金集めに準備した受付口座のシステムトラブルで、みずほ銀行の基幹勘定系システム全体がマヒするトラブルも発生、個人／企業を巻き込み、社会問題化している。情報社会の便利さ、優位性は、情報システムテクノロジーをベースに成立している。反面、それが故に、大きな脆弱性も併せ持っていることを、今回の大震災を通じて痛感させられた。改めて、我々

は情報社会にどう関与し、どう貢献していくべきかを考えさせられた思いがする。

1 5 日本再生／世界競争力回復のカギ

何故 M-BIM 構築が必要か その 2

水田 浩

社会投資を精鋭化する

去る 3 月 11 日に発生した東北関東大震災での大地震、巨大津波で亡くなられた方々に心よりお悔やみを申し上げ、ご冥福をお祈りいたします。また、被災され、避難所での不自由な生活を強いられている皆様に慎んでお見舞いを申し上げます。一方、避難所生活のご苦勞を少しでも和らげ、支える支援活動をされているボランティア活動に参加されている方々の忍耐強さや規律正しい姿勢は、世界の称賛と激励を受けているものと確信する次第です。こうした、心ある支援の皆様方の行動こそ、「もったいない」の実践だと思えますし、この経験は福島県の循環型社会のモデルになります。これを世界のスマートシティのモデルにするお手伝いを M-BIM でしたいと願っています。

2 0 一躍本命 OS に踊り出た Android と

これからの情報システムリスク

aism

Win OS と同じ道を行くのか

圧倒的な市場占有率であった Windows OS を追い抜き、普及個数で一躍世界一となったフリーソフトウェア OS Android。その理由は、PC をはじめとして携帯電話を含めたあらゆるモバイル端末を普及範囲とするからだ。一方、従来の携帯端末は厳しいハードウェア性能の制約から、OS およびソフトウェアは非常にコンパクトに設計される必要があった。どうしても独自 OS／独自ソフトウェアにせざるを得ない理由だった。Android はこの常識を一変させようとしている。フリーかつオープンで、万人が共有できるソフトウェア開発環境を実現したからである。こうなると、フリーではなかったがデファクトスタンダードとして世界中に普及してきた Windows OS と同じ情報システムリスクが発生する可能性が出てくる。aism ネットクラブも傍観しているわけにはいかない。

2 5 人材紹介業界の秘話と悲話

丁寧な物言いに潜む無礼千万

Dr. ベスト

第七話 「作業をして下さっている方々」と困った時の神頼み

福島第一原発の事故現場では今、国難とも言える事態に立ち向かってくれる作業員たちがいる。当初、鼻をくくったような高い位置から見ていた保安院のスタッフも、とうとう困った時の神頼みということか、現場作業員を「作業をして下さっている方々」と懇懇無礼に呼称するようになった。原発現場だけでない。企業情報システムだって同じ状況だ。いざという時に頼られるのは外部の人材。喉元通れば熱さ忘れるということか、我が国の大手システムベンダーは、情け容赦なくアウトソーシングパワーの契約解除に踏み切った。

求む「協力会社の皆様」「作業に携わる方々」

3 0 続インテリジェンスへのいざない ⑩

救援／復旧活動現場を惑わすリーダー不在の悲劇

今井 武

東北関東大震災、それにとまなう巨大津波、そして破壊された福島第一原発での放射能洩れ事故。緊急な対策が求められる中、その指示系統の中核トップであるとともに、国民

への説明情報発信の大本営である総理官邸は、狼狽とも言える醜態をさらけ出している。そのため、被災現場では救援活動、復旧作業に深刻な遅れを生じ、被災者だけでなく、一般国民にも、要らぬ苛立ちと不満の声が上がっている。偏にリーダーシップのあるリーダー不在のためだとの認識が、国民の間に拡がっている。最高責任者であるはずの総理大臣と、その支配下にあって実行責任者である官房長官から発せられるインテリジェンス情報に違いが出るなど、情報管理における基本的問題も表面化。リーダー的素養のない首相のもとで矢面に立つ枝野官房長官の姿から、「エダる」なる新造語も飛び出す始末である。国民一丸となつての復旧活動を最優先させる時であるが故に、今のところ政府パッシングの声は控えられているが、国民は今、リーダー不在の悲劇を、嫌というほど味わっている。

3 3 IT 新時代とパラダイム・シフト

第 19 回 大震災時における空港と

航空ヘリに期待される役割

根本忠明

戦後最大の災害となった東北関東大震災。犠牲になった多くの皆様方のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様方に心よりお見舞い申し上げます。復興に向けて、一丸となって走り出した日本だが、これまでの対応/対策を見る限り、国、法、行政の基本的なあり方、非常時における対応策として、多くの問題点が浮き彫りにされている。実に、緊急時の支援活動を阻害しているのが、平常時を想定して作られた法律の壁であり、実際の救援活動を監督する役所の壁であることが随所で表面化している。彼の国々での革命の起爆剤となったウェブメディアの活用も思うにまかせず、正確な情報入手を手間取らせ、交通機能が遮断され、移動手段を奪われた多くの人々の不安を一層かき立てた。とてもではないが、IT 立国日本とは思えない情報通信孤独を多くの日本国民が味わうこととなった。

3 7 一味違うウェブ検索

第九話 東日本大震災に関する情報収集法

ぐうのうえぶへい

今多くの人が最も知りたいと思うのは、東北関東大震災にかかわる情報だろう。依然として続く余震情報、津波による被害実態、そして大打撃を受けた福島原発事故の状況、それらに関連する情報である。今回は、ウェブ検索の基本に戻って、大震災の情報入手法について紹介しよう。

3 9 しずてむこらむ

■安否確認に無力だった携帯

■パナソニック、Linux ファンデーションに参加

■緊急支援の申し出とパフォーマンス

4 2 連載 ことわざ笑タイム

すぎやまちヒロ

セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで
株式会社 日本経営科学研究所
ComputerReport編集部

cr-info@jmsi.co.jp

CR 選書のご案内

CR選書

改訂版
データ・ウェアハウス

定価 本体 2,816円＋税 送料(〒300)
A5版 289頁

石井 義興 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 目録が必要としているデータ	第七章 情報システム部門しかできないデータ・ウェアハウスサポート
第二章 データベースとデータ・ウェアハウスの構造と	第八章 データ・ウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータ・ウェアハウス	第九章 データ・ウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルとネステッド・リレーショナル・モデル	第十章 データ・ウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正規化の問題点とデータ・ウェアハウス	
第六章 データ・ウェアハウス管理システム	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

実践データ・ウェアハウス
OLAP

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)
A5版 249頁

豊島一政・木村 哲 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 これまでのEUCIでできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構造
第三章 Code博士によるOLAPプログラムの評価ツール	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析処理の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

消費者行動論

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)
A4版 181頁

田原文夫 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意志決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動トピックス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動トピックス)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

aism 研究活動報告
インターネットセキュリティの
落とし穴

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)
A4版 197頁

一橋大学教授 安田 聖 監修
aism情報セキュリティ・マシントリニティ研究会 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM、KLEZの監視と駆除
第二章 aism情報セキュリティマシントリニティ研究会の発足	第十二章 メールが通らない
第三章 匿名化された電子署名方式の基本原則	第十三章 生体ネットワークのための情報オーナーの課題
第四章 世界を駆けめぐったCodeRedワーム	第十四章 最近のインターネット防衛セキュリティ対策
第五章 情報システムにおけるリスク	第十五章 ITガバナンスの意識と情報セキュリティ対策
第六章 情報漏洩対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 VPN(バーチャルプライベートネットワーク)	第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」
第八章 aismの2011年度の事業計画	第十八章 セキュリティポリシー作成にあたってのノウハウ
第九章 情報セキュリティ情報研究会の発足と課題	
第十章 インターネット関連の苦情と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

エンタープライズ情報システム設計の基本書！
トップ主導の
情報システム革新

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)
A4版 271頁

高田 顯重 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム監査
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成果評価
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 変化対応のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

計量モデルの構造と解法
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)
A4版 213頁

安田 聖 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分解方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 方型式のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計量方法	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

『いざ！というときの得広報』
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,748円＋税 送料(〒300)
A5版 228頁

加藤 洋一 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

■ 広報ビジネスの前提条件	■ 売定文化企業体質
■ ニュースリリースは東方向選定	■ 守るも攻めるも広報が窓口
■ 活字媒体の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例編」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のテクニック	<付> 記事とうまく付き合うための鉄則(まとめ)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

ザ・ワールドリンク
がんばれ、国際グローバルサーバー
IBM社に挑んだ国際情報システム作りの物語

定価 本体 1,848円＋税 送料(〒300)
A5版 268頁

迫 忠幸・湯浅 誠 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 発端	第十一章 日本開港場の違い
第二章 あるプロジェクト	第十二章 米軍チーム撤退の危機
第三章 新しいシステムへの働き	第十三章 新たな仲間
第四章 WOOIに向けて	第十四章 米軍撤退所帯と新たな組み
第五章 FJO、IBM戦争	第十五章 開港場撤退とバンタンツ
第六章 日本プロジェクトチームの発足	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本運用体制と本番後日誌
第八章 米軍チーム立ち上りの流れ	第十八章 既存システムとのデータ交換の問題
第九章 大きな壁、英語コミュニケーション	第十九章 撤退までの一 直前、撤退、直後の苦しみ
第十章 米軍チーム、異なる三人組	第二十章 撤退までの二 安室隆雄と北米センター移設

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp